

令和元年度

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

年 次 大 会 資 料

日時：令和元年 5 月 24 日（金） 14 時 00 分～15 時 00 分

場所：仙台市戦災復興記念館 研修室

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

年 次 大 会 次 第

1. 年次大会議事 14 時～15 時

(1) 開会宣言

(2) 報告

- ①平成 30 年度活動報告
- ②平成 30 年度会計報告
- ③監査報告
- ④令和元～2 年度役員人事（案）
- ⑤令和元年度活動計画（案）
- ⑥令和元年度会計予算（案）
- ⑦その他

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 15 時～17 時 CPD 2 h 予定

タイトル：地名が知らせる災害と防災

講師：太宰幸子氏（日本地名研究所理事）

3. 意見交換会 17 時 15 分～19 時 15 分

場所：一軒居酒屋大町へそのを

仙台市青葉区大町 2-6-4

会費： 5,000 円

1. 平成 30 年度活動報告

①平成 30 年度応用理学部会年次大会および特別講演

年次大会 参加者：18 名

日時：平成 30 年 5 月 18 日(金) 14 時～15 時

会場：戦災復興記念館 4 階 研修室

特別講演：15 時～17 時 参加者 35 名

タイトル：地熱の利用：地中熱から超臨界地熱まで

講師：講師：土屋範芳氏（東北大学大学院環境科学研究科教授）

意見交換会 参加者 16 名

時間：17 時 30 分～19 時 30 分

会場：2F レストラン トップ

会費：4,000 円

②平成 30 年度研修会；参加者 22 名、意見交換会 15 名

テーマ：Study Nature, not Books!～書を抱いて、野に出でよ！～

講師：永広昌之氏

東北大学名誉教授、東北大学自然史標本館協力研究員

日時：平成 30 年 7 月 13 日（金）15 時～17 時

場所：日立システムズホール(仙台市青年文化センター)研修室 2

参加費：1,000 円（会員、非会員とも）

意見交換会：5,000 円

会場：レストランけやきの杜

③技術士全国大会関連行事 応用理学部会 in 福島 参加者 42 名

タイトル：近年の地震災害と活断層について 講師 中村洋介氏（福島大学）

：深成岩地域の地下水調査の有効性-双葉郡葛尾村の例- 講師 谷藤允彦氏（新協地水株式会社）

日時：平成 30 年 11 月 11 日（日）13 時 30 分～16 時 30 分

場所：ビッグアイ 第 3 会議室

参加費：無料（会員、非会員とも）

④平成 30 年度現地見学会：参加者 9 名

テーマ：秋田県成瀬ダム建設現場（1 日目）と宮城県内既設ダムの見学（2 日目）

日時：平成30年9月14日(金)～15日(土)

場所：岩手県奥州市～秋田県東成瀬村～仙台市

案内者：国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所、畚野匡氏(日本工営)、東北森林管理局宮城北部森林管理署、菅原捷氏(元地質官)

会費：15,000円(会員・非会員とも、宿泊費、交通費等)

- ④役員会 平成30年4月6日(金)、5月18日(金)、6月8日(金)、7月13日(金)、8月24日(金)、10月12日(金)、12月14日(金)、平成31年1月25日(金)(計8回、太字は技術サロン開催日)
- ⑤ 技術サロン：4回開催(第2または第3金曜日夕方開催)
- 第一回 平成30年6月8日(金) 18:00-20:30 参加者：19名
- ・1 関原孝俊氏(一般財団法人日本気象協会)
「(仮)大雨予測とダムの洪水調整について」
 - ・2. 利部 哲氏((株)パスク)
「環境測定における化学分析の種類とその原理」
- 第二回 平成30年8月24日(金) 18:00～20:30 参加者：15名
- ・1 菅原 捷氏
「ダム建設における地質技術者の役割」
 - ・2. 畚野 匡氏(日本工営(株))
「Aダムの掘削面地質状況について」
- 第三回 平成30年10月12日(金) 18:00～20:30 参加者：12名
- ・1 伊藤靖雄氏(ダイヤコンサルタント)
「簡易試験による岩級区分」
- 第四回 平成30年12月14日(金) 18:00～20:30 参加者：18名
- ・1. 押見和義氏(復建技術コンサルタント)；「最近の切土のり面安定に関する知見～流れ盤に起因する不安定化など～」
 - ・2. 永野邦明氏(宮城県古川農業試験場長)；「お米の品種開発最前線～玄米食用品種「金のいぶき」を中心に～」

2. 平成30年度会計報告

応用理学部会 平成30年度 会計決算(案)

	決 算	H30年度予算	対 比
総収入	613,620	798,170	△ 184,550
総支出	540,041	696,400	△ 156,359
繰越金	73,579	101,770	△ 28,191

【収入の部】

科 目	決 算	H30年度予算	対 比	摘 要	
前年度繰越金	113,170	113,170	0		
本部交付金	100,000	100,000	0		
寄附金	31,450	0	31,450	見学会関連で2者から寄付	
小 計	244,620	213,170	31,450		
事業収入	年次大会	60,000	80,000	△ 20,000	年次大会18名出席、特別講演35名、意見交換会16名参加
	見学会	153,000	300,000	△ 147,000	9名参加
	技術サロン	64,000	65,000	△ 1,000	4回合計64名参加
	研修会	92,000	140,000	△ 48,000	22名参加、意見交換会14名参加
	地震防災WG活動	0	0	0	
雑収入	雑 収 入	0	0	0	
小 計	369,000	585,000	△ 216,000		
総収入	613,620	798,170	△ 184,550		

【支出の部】

科 目	決 算	H30年度予算	対 比	摘 要	
事業費	年次大会	102,700	114,000	△ 11,300	往復ハガキ、講演謝礼、意見交換会
	見学会	172,350	290,000	△ 117,650	9月14-15日実施。ダム見学。
	技術サロン	68,590	64,400	4,190	4回開催、会場費、軽食代ほか
	研修会	108,360	130,000	△ 21,640	7/13開催、謝礼、会場費、懇親会
	地震防災WG活動	0	5,000	△ 5,000	
	プロジェクト購入費	69,036	70,000	△ 964	
	小 計	521,036	673,400	△ 152,364	
管理費	会 議 費	3,560	6,000	△ 2,440	役員会会場費
	通 信 費	13,482	16,000	△ 2,518	
	事 務 雑 費	1,963	1,000	963	
	予 備 費	0	0	0	
	小 計	19,005	23,000	△ 3,995	
総支出	540,041	696,400	△ 156,359		

決算、予算対比
 決算-H30予算
 マイナスは△で表示

3. 監査報告

監 査 報 告 書

平成30年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

平成 31 月 4 月 // 日

公益社団法人日本技術士会東北本部 応用理学部会

監事 新沼正彦 

4. 令和元-2年度 応用理学部会役員名簿（案）

役職	氏名	所属	備考
顧問	佐藤一夫	岩倉測量設計(株)	
顧問	滝田良基	(株)三協技術	
顧問	谷藤允彦	新協地水(株)	
顧問	中里俊行	(有)ジオテクノ中里産業	(新任)

役職	氏名	所属	備考
部会長	黒墨秀行	(株)総合土木コンサルタンツ	(新任)
副部会長	尾崎裕司	日本工営(株)	
副部会長	押見和義	(株)復建技術コンサルタント	(新任)
代表幹事	森 信博	土木地質(株)	総務
幹事	川口通世	(株)川口技術士事務所	福島
幹事	菊地 真	東北ボーリング(株)	広報(主)
幹事	桜田裕之	(株)自然科学調査事務所	秋田
幹事	伊藤靖雄	(株)ダイヤコンサルタント	(新任) 広報(副)
幹事	今野隆彦	(有)ジオプランニング	
監事	新沼正彦	(株)測地コンサルシステム	幹事兼任 (総務)

5 . 令和元年度 活動計画 (案)

① 令和元年度 年次大会および特別講演

日時：令和元年 5 月 24 日 (金) 14 時 00 分～17 時 00 分

場所：仙台市戦災復興記念館 研修室

仙台市青葉区大町二丁目 12 番 1 号

○年次大会 14 時～15 時

○特別講演 15 時～17 時

タイトル：地名が知らせる災害と防災

講師：太幸幸子氏 (日本地名研究所理事)

○意見交換会

時間：17 時 15 分～19 時 15 分

会場：一軒居酒屋大町へそのを

仙台市青葉区大町 2-6-4

会費：5,000 円

② 令和元年度研修会

テーマ：原発事故と地下水

—福島第一原発とチェルノブイリ原発の状況—

日時：令和元年 7 月 19 日 (金) 15 時～17 時

場所：日立システムズホール仙台 (仙台市青年文化センター) 研修室 2

講師：柴崎直明氏 (福島大学共生システム理工学研究科 教授)

意見交換会：参加費 5,000 円

会場：レストランけやきの杜

③ 令和元年度現地見学会

日時：令和元年 9 月

テーマ：

場所：検討中

案内者：依頼中

④ 役員会

平成 31 年 4 月 19 日 (金)、令和元年 5 月 24 日 (金)、**6 月 14 日 (金)**、7 月 19 日 (金)、**8 月 23 日 (金)**、**10 月 11 日 (金)**、**12 月 13 日 (金)**、令和 2 年 2 月 7 日 (金)

(太字は技術サロン開催予定日)

⑤地震防災 WG

特定非営利活動法人防災・減災サポートセンターと協力して活動

⑥技術サロン：4回開催・・・会場：日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）他の公共施設

6月～12月隔月第2または第3金曜日；18：00～20：30

会費 1000 円/回

開催予定月日；6/14, 8/23, 10/11, 12/13

6. 令和元年度 会計予算（案）

	令和元年度予算	H30年度決算	対比
総収入	493,579	613,620	△ 120,041
総支出	421,400	540,041	△ 118,641
繰越金	72,179	73,579	△ 1,400

【収入の部】

科目	令和元年度予算	H30年度決算	対比	摘 要	
前年度繰越金	73,579	113,170	△ 39,591		
本部交付金	100,000	100,000	0		
寄附金	0	31,450	△ 31,450		
小計	173,579	244,620	△ 71,041		
事業収入	年次大会	75,000	60,000	15,000	意見交換会15名
	見学会	75,000	153,000	△ 78,000	日帰り
	技術サロン	65,000	64,000	1,000	4回開催、会費1000円
	研修会	105,000	92,000	13,000	30名、意見交換会15名
	地震防災WG活動	0	0	0	
雑収入	雑収入	0	0	0	
小計	320,000	369,000	△ 49,000		
総収入	493,579	613,620	△ 120,041		

【支出の部】

科目	令和元年度予算	H30年度決算	対比	摘 要	
事業費	年次大会	115,000	102,700	12,300	謝礼、案内はがきほか
	見学会	95,000	172,350	△ 77,350	資料代、保険ほか
	技術サロン	70,400	68,590	1,810	4回開催、会場費ほか
	研修会	115,000	108,360	6,640	会場費、意見交換会
	地震防災WG活動	5,000	0	5,000	
	プロジェクト購入費		69,036	△ 69,036	技術サロン、研修会等に使用
	小計	400,400	521,036	△ 120,636	
管理費	会議費	4,000	3,560	440	役員会会場費
	通信費	15,000	13,482	1,518	HP管理費、郵送料ほか
	事務雑費	2,000	1,963	37	
	予備費	0	0	0	
	小計	21,000	19,005	1,995	
総支出	421,400	540,041	△ 118,641		

対前年決算
令和元年度予算-H30決算
マイナスは△で表示

公益社団法人日本技術士会 東北本部 応用理学部会 規約

平成 15 年 4 月 11 日制定

平成 17 年 6 月 10 日改正

平成 18 年 5 月 12 日改正

平成 20 年 5 月 8 日改正

平成 25 年 5 月 16 日改正

平成 26 年 5 月 9 日改正

第 1 条 名 称

本部会は「公益社団法人 日本技術士会(以下、技術士会)東北本部 応用理学部会」(略称「東北 応用理学部会」と称する。

第 2 条 目 的

本部会は、

- 1) 専門技術の観点から技術士会に協力する。
- 2) 技術士の職業倫理の確立と地位の向上を図る。
- 3) 部会員の技術の向上を図る。
- 4) 部会員相互の親睦を図る。
- 5) 専門技術を通し地域社会へ貢献する。

こと等を目的とする。

第 3 条 部 会 員

部会は、応用理学部門に合格した技術士会会員および準会員をもって構成する。

第 4 条 役 員

本部会は、上記目的を達成するため、次の各号に掲げる役員を置き円滑な部会の運営にあたる。

部会長	1 名
副部会長	2 名
幹事	若干名
監事	1 名

本部会は顧問を置くことができる。顧問は、本部会活動の活発化および円滑な運営を図るため、第 7 条で規定する会議に出席し、意見を述べることができる。

役員任期は 1 期 2 年とし、再任を妨げない。ただし、部会活動活性化のため、部会長は最長 2 期を限度とする。

第 5 条 役員を選任

1. 部会長は、部会年次大会において選任し、本部長に報告する。
2. 幹事は、部会長が部会員の中から委嘱し、年次大会に報告する。
3. 顧問は、役員会が推薦し、年次大会に報告する。

4. 監事は部会長が推薦し、年次大会で承認を得る。

第6条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北本部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、部会の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べるすることができる。

第7条 会議の種類

本部会の会議は、年次大会、役員会とする。

第8条 年次大会

1. 年次大会は定期年次大会及び臨時大会とし部会員をもって構成し、部会長が召集する。
2. 定期年次大会は、原則として本部年次大会前に開催する。
3. 臨時大会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時大会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに臨時大会を召集しなければならない。
4. 年次大会の議長は部会長が務める。

第9条 年次大会の議事

1. 年次大会においては、この規約に規定するものの他、次の各号に示す事項を報告する。
 - ①前年度活動報告及び決算の承認に関する事項
 - ②年次活動計画及び予算の承認に関する事項
 - ③役員会において年次大会に付議する必要があると認めた事項
2. 年次大会の議事は、出席者の過半数をもって定める。

第10条 規約の変更

本規約の変更は、役員会の3分の2以上の同意を以って発議し、年次大会において出席した部会員の3分の2以上の同意を以って成立する。

第11条 役員会

1. 役員会は構成員の2分の1以上の出席を以って成立し、次の事項を審議する。

2. 役員会の議長は部会長が努める。ただし、都合で部会長の指名により一任された者が会議を推進することができる。
3. 役員会の内容は、その都度議事録を作成する。
4. 役員会に付議する事項は、部会の運営に関することを原則とする。

第12条 部会活動

部会活動は、第2条の目的を達成するため、次の各号に掲げる活動を行う。

1. 本部会並びに他の部会との連携を図り、共通の課題に対する、討議、意見の交換及び行事の共催
2. 国、地方公共団体、民間等の国内の組織団体との技術交流並びに海外の科学技術関係の技術者との交流
3. 科学技術に関する調査並びに文献及び資料の収集
4. 科学技術に関する研修、講演会、見学会等の開催
5. 専門技術により地域に貢献するため地方公共団体等からの相談・依頼があった場合業務を受託し行うことができる。
6. 科学技術に関する情報の交換、新技術の修得及び意見交換等を目的とする行事の開催
7. 部会員相互の親睦を図るための行事の開催
8. 前各号に掲げるものの他、本部会の目的を達成するために必要な活動

第13条 会費等

年会費は当面の間、無料とし、各行事毎に参加費を徴収する。

第14条 事業年度

本部会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日とする。